

介護システムの持続可能性 マクロ・財政・労働の観点から

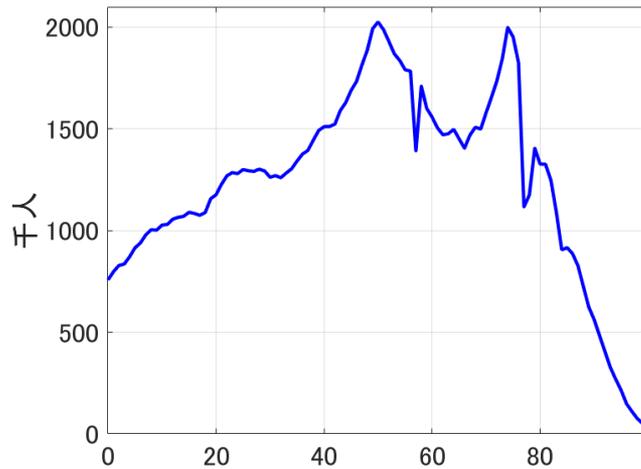
政策研究大学院大学 (GRIPS)

北尾早霧

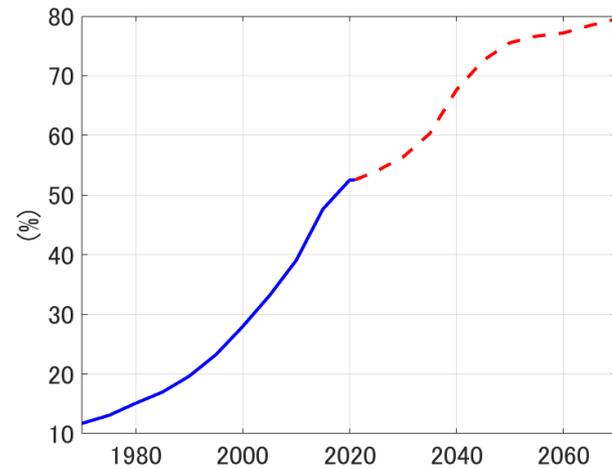
高齢化・マクロ経済と介護

- 介護・社会保障システムの持続可能性
 - マクロ経済的観点からのビッグピクチャー
- 少子高齢化の進行
 - 社会保障（年金・医療・介護）の支出増と負担拡大
 - 医療・介護人材の需要増
 - 同時進行する労働人口減と人手不足、課税ベース縮小
- 介護保険制度（2000年～）
 - 寿命・引退期間の延伸、少子化、女性の労働参加率上昇を背景に、老後を支える重要な柱
 - 家庭内介護負担を軽減し、労働参加・人的資本形成を促進する効果
 - BUT：財源確保のメカニズム（年金のマクロ経済スライド等）がなく、上限のない支出増・人材確保困難のリスクを抱える

人口分布と高齢者比率



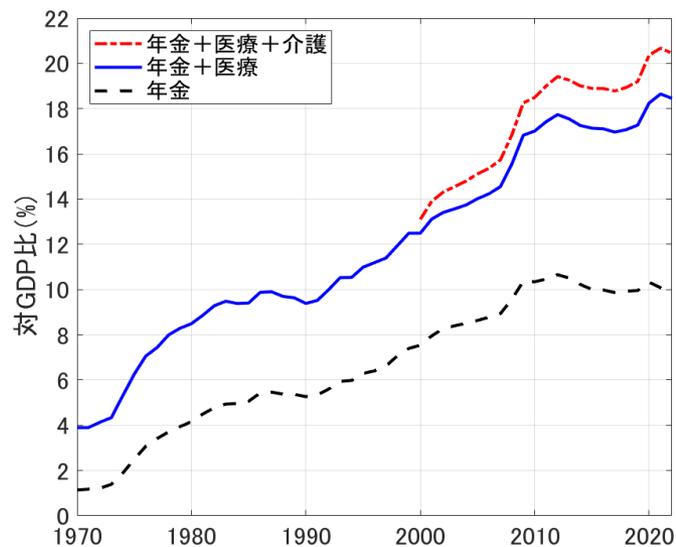
年齢別人口分布 (2023年)



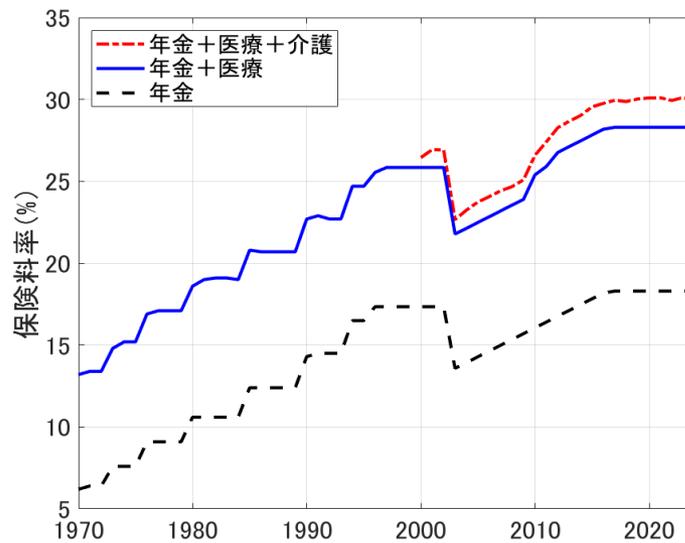
高齢従属人口指数 (65歳以上/20-64歳人口)

出所：国立社会保障・人口問題研究所 (IPSS)、人口推計

社会保障給付費の推移



社会保険料の推移



出所：国立社会保障・人口問題研究所（IPSS） 社会保障費用統計（令和4年度）

介護システムの持続可能性

● 財政負担の推計

- 人口推計（IPSS）に基づく介護保険を含む社会保障負担の推計
- Kitao and Mikoshiba（2025）現行の税・社会保障制度・対GDP政府債務（国債金利）、男女・年齢別労働参加・生産性の継続を仮定

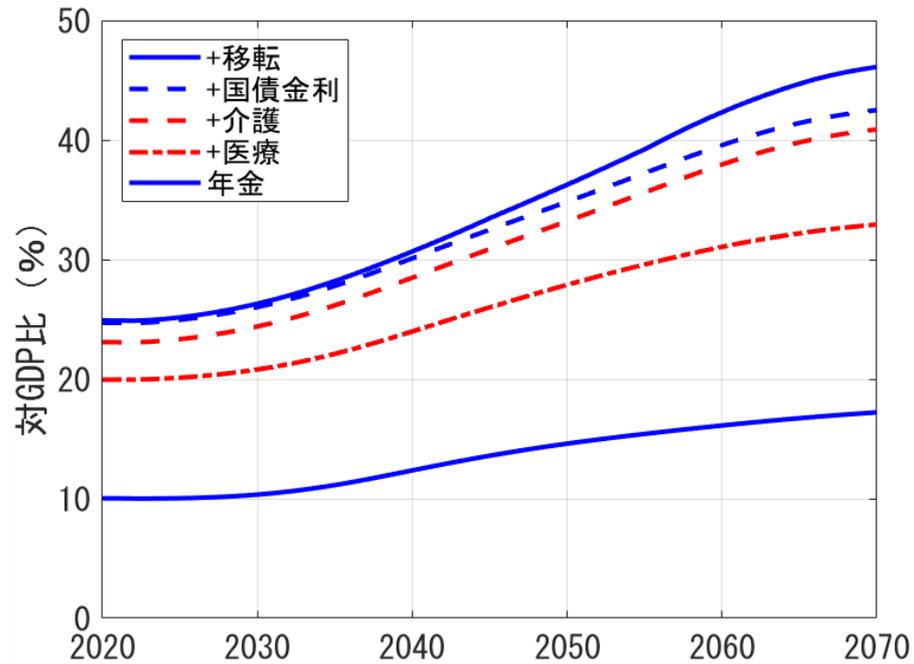
● 介護職員数

- 介護保険発足後、介護職員数は単調に増加
- 女性の労働参加率増の背景：Kawaguchi, Kawata and Toriyabe（2021）

● 需要サイド：高齢者の経済状態の変化

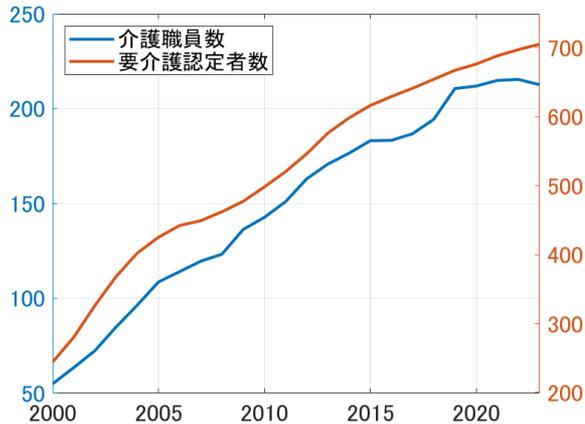
- 世代内・世代間格差：Kitao and Yamada（2025）
- 未婚率の上昇
- 労働参加率の上昇・引退年齢の上昇

政府支出の推計

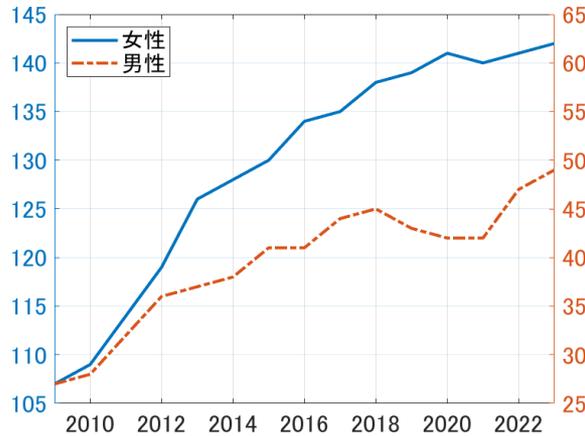


出所：Kitao and Mikoshiba (2025)

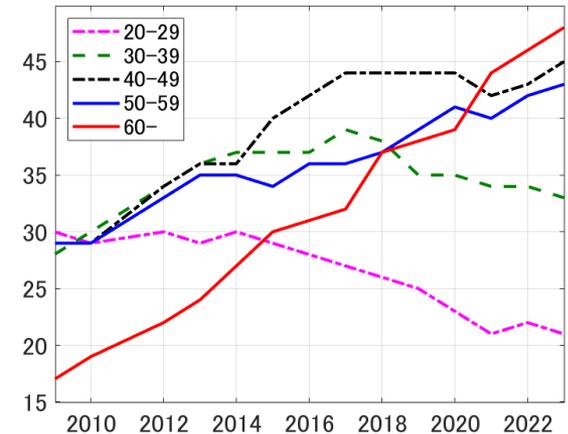
介護人材の推移



介護職員・要介護認定者数 (万人)
2000-2023年



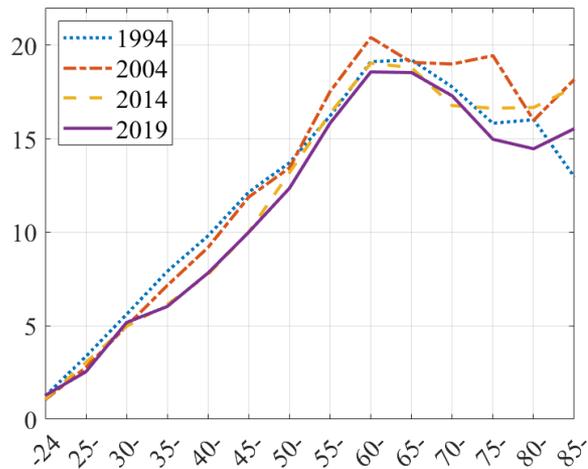
男女別介護職員数 (万人)
2009-2023年



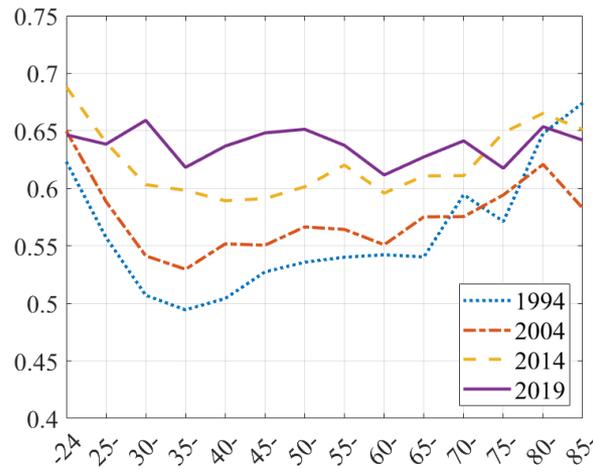
年齢別介護職員数 (万人)
2009-2023年

出所：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」（介護職員数）、「介護保険事業状況報告」（要介護認定者数）
労働力調査（男女別・年齢別介護サービス従事者）

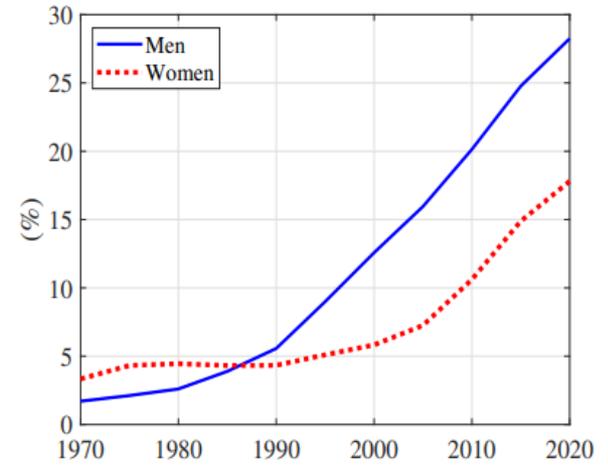
高齢者の経済状態



世帯年齢別平均金融資産 (百万円)



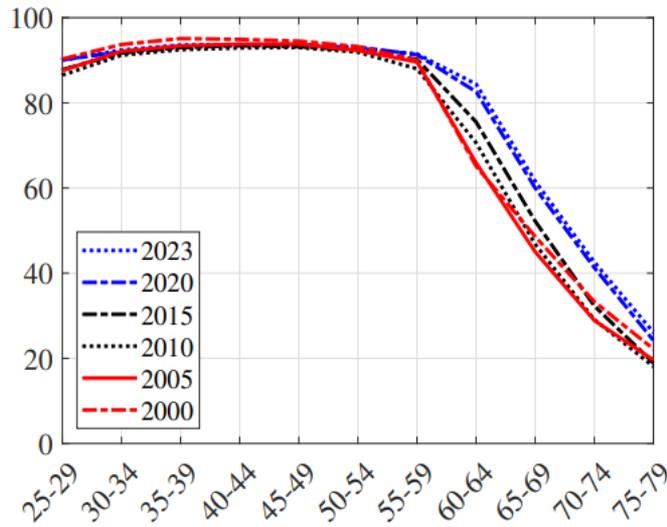
世帯年齢別資産ジニ係数



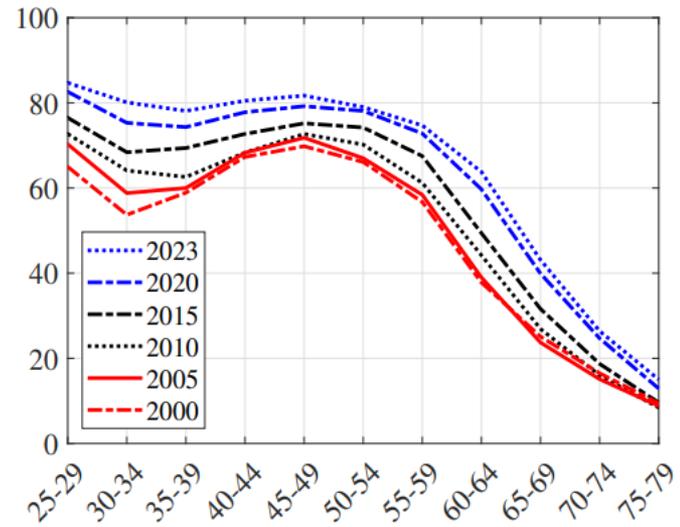
生涯未婚率 (%)

出所：Kitao and Yamada (2025)、全国消費実態調査・全国家計構造調査（平均資産・資産ジニ）
人口動態調査（未婚率）

高齢者の労働参加



男性



女性

年齢別労働参加率 (%)

出所：Kitao and Takeda (2025)、労働力調査

介護システムとマクロ経済

- 介護に関わる多岐なトレードオフ：マクロ視点の重要性
 - サービス提供の在り方：在宅・施設、介護の担い手（市場・家庭）、「リスク」の保険提供者（公・民）
 - 高齢化と支出増：財政負担・人的負担が資源配分と経済成長に与える影響
 - 女性の高学歴化・労働参加率上昇、未婚化に伴う担い手・機会費用の変化
 - ミクロ視点も重要：望ましい介護の異質性・選択肢の重要性、家族形態・賃金水準による負担の違い
 - ミクロを踏まえたマクロ視点での分析・学術研究の重要性：Mikoshiya (2024) は構造モデルを用いて介護給付による労働への影響を分析。介護供給者の生産性が厚生効果を左右

参考文献

- Kawaguchi, D., K. Kawata, and T. Toriyabe (2021) “*An Assessment of Abenomics from the Labor Market Perspective*,” *Asian Economic Policy Review*.
- Kitao, S. and M. Mikoshiha (2025) “*Demography, Fiscal Sustainability, and Social Security System in Japan*,” *Oxford Handbook of the Japanese Economy*, forthcoming.
- Kitao, S. and N. Takeda (2025) “*Japan’s Aging Workforce: Determinants and Outlook*,” working paper.
- Kitao, S. and T. Yamada (2025) “*Earnings, Income, and Wealth Inequality in Japan: A Long-Term Perspective, 1984-2019*,” *Japanese Economic Review*, forthcoming.
- Mikoshiha, M. (2024) “*Universal Insurance with In-Kind Transfers: The Welfare Effects of Long-Term Care Insurance in Japan*,” working paper.